

・章番号が文の途中で 行の先頭にある場合、
2行3マス (計6マス) 使用して 番号を記入する。

22 わたしは、都の中に神殿を見なかった。全能者である神、主と小羊とが都の神殿だからである。23 この都には、それを照らす太陽も月も、必要でない。神の栄光が都を照らしており、小羊が都の明かりだからである。24 諸国の民は、都の光の中を歩き、地上の王たちは、自分たちの栄光を携えて、都に来る。25 都の門は、一日中決して閉ざされない。そこには夜がないからである。26 人々は、諸国の民の栄光と誉れとを携えて都に来る。27 しかし、汚れた者、忌まわしいことと偽りを行う者はだれ一人、決して都に入れない。小羊の命の書に名が書いてある者だけが入れられる。

22 1 天使はまた、神と小羊の玉座から流れ出て、水晶のように輝く命の水の川をわたしに見せた。2 川は、都の大通りの中央の流れ、その兩岸には命の木があって、年に十二回実を結び、毎月実をみおらせる。そして、その木の葉は諸国の民の病を治す。

わたしは、都の中に神殿を見なかった。全能者である神、主と小羊とが都の神殿だからである。23 この都には、それを照らす太陽も月も、必要でない。神の栄光が都を照らしており、小羊が都の明かりだからである。24 諸国の民は、都の光の中を歩き、地上の王たちは、自分たちの栄光を携えて、都に来る。25 都の門は、一日中決して閉ざされない。そこには夜がないからである。26 人々は、諸国の民の栄光と誉れとを携えて都に来る。27 しかし、汚れた者、忌まわしいことと偽りを行う者はだれ一人、決して都に入れない。小羊の命の書に名が書いてある者だけが入れられる。

22 1 天使はまた、神と小羊の玉座から流れ出て、水晶のように輝く命の水の川をわたしに見せた。2 川は、都の大通りの中央の流れ、その兩岸には命の木があって、年に十二回実を結び、毎月実をみおらせる。そして、その木の葉は諸国の民の病を治す。